



学校法人南山学園 行動計画

2021年4月1日策定

南山学園では、女性職員がその個性と能力を十分に発揮して職業生活において活躍できるようにするため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 2021年4月1日から2026年3月31日までの5年間

2. 課題

- ①管理職に占める女性職員の割合が低い。
- ②事務職員（専任職員および専任嘱託職員）の時間外勤務は、年間360時間以上500時間未満の者の割合が10.4%(26人)、年間500時間以上の者の割合が7.6%(19人)となっており、長時間労働を抑制する必要がある。

3. 目標と取組内容・実施時期

- 目標1 女性管理職の割合を、教育職員※20%以上、事務職員※※10%以上にする。
目標2 事務職員（専任職員および専任嘱託職員）の時間外勤務を、年間360時間以上500時間未満の者の割合を8%未満、500時間以上の者の割合を5%未満にする。

※大学：大学協議会構成員（学長、副学長、学部長、研究科長、教務部長、学生部長、図書館長、研究所総合委員会委員長、国際センター長、情報センター長、外国語教育・教職・体育教育センター長会議議長）、高中小幼：校長・副校長・教頭・園長・副園長
※※局長、本部長、部長、次長、室長、課長・事務室長・事務長

<2021年4月から>

- ・女性教育職員については、職務経験に応じて積極的に管理職（担当職）に登用するよう、各単位の長に働きかける。女性事務職員については、職能資格試験へのチャレンジを上司から促す。
- ・管理職に対して部下の中長期的育成や評価に関する研修を実施し、各職場でキャリアプランを含めた育成・指導が行われるようにする。
- ・時間外労働が年間360時間以上の事務職員が所属する部署の管理職に対して、原因分析および人員配置や組織・業務の平準化等の見直しを含めた改善依頼を実施する。
- ・管理職による業務の優先順位付けや業務分担の見直し等のマネジメントを徹底する。
- ・働き方改革および時間外労働の削減に向けた研修を実施する。

4. 女性の活躍推進に関する情報公表

- ・採用した労働者に占める女性労働者の割合（2020年度）教育職員 15.8% 事務職員 100.0%
- ・管理職に占める女性労働者の割合（2020年度）教育職員 16.3% 事務職員 5.6%
- ・男女別の育児休業期間取得率および平均取得期間（2019年度）
 - 教育職員（男性）取得率 0.0%(0/16人) 平均取得期間：—
 - 事務職員（男性）取得率 33.3%(1/3人) 平均取得期間：7ヶ月
 - 教育職員（女性）取得率 75.0%(6/8人) 平均取得期間：1年0ヶ月
 - 事務職員（女性）取得率 66.7%(4/6人) 平均取得期間：9.25ヶ月

以上